

# 信府統記

七

			九	和
		一	三	書
三	一	三	四	門
一	二	一	一	
冊	架	函	號	類

庫文閣内			
五	九		和
函	三	四	書
一	三	四	
架	冊	號	類

内閣文庫	
番號	和 9341
冊數	31 ( 7 )
函號	174 209



Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



Kodak 2007 TM: Kodak



教部省  
文庫印

信府統記第七

信濃國郡境記卷五

丙一〇三〇八號

文鳳堂印

一 筑摩郡知行高鄰國並郡境

一 當郡中與分古水帳寫

一 與之村數石高

一 鳴立與山川地理

一 麻績與山川地理

信濃國郡境記卷五

- 一 會田與山川地理 附 保福寺 鈎山ノ事
- 一 岡田與山川地理 附 女鳥羽ノ事
- 一 山家與山川地理
- 一 出川與山川地理
- 一 鹽尻與山川地理
- 一 庄内與山川地理
- 一 當郡古戰場
- 一 他境頌廻百首歌

筑摩 安曇

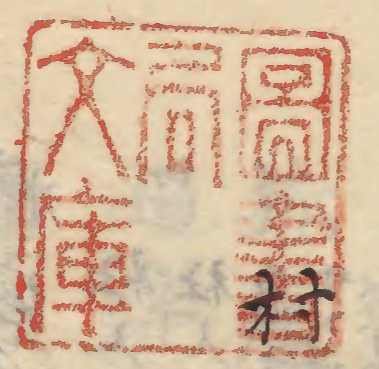
筑摩郡

内一〇三〇八號

高五万四千八百六石四斗三升九合二勺

數二百四十二

元禄年中 國繪圖改メ記サレシ時ノ知行高  
 村數ナリ 當郡木曾始メ公郡ノ内ニアラヌ元  
 禄年中 中國繪圖改メラレシ時ヨリ 當郡ニ定  
 入ラレタリ 木曾ハ尾張殿領ナリ 故ニ下ニ別  
 記ス 櫻沢ノ橋ヨリ 北松本領ノ  
 郡境左ノ如シ



凡當郡ハ信濃ノ國府ナリ 郡ノ名トセル

筑摩村ハ 古ハ塚摩ノ字ヲ書ケリトカヤ 庄内ノ  
 近世筑摩ノ字ヲ用ユ

地ナリ 庄内ノ号モ 筑魔ノ神社ハ昔當國ニ

鬼神住テ人民ヲ惱シケル故退治セラレケル

時其魔ノ首ヲコ、ニ埋メ其上ニ神社ヲ建ハ

幡宮ヲ勸請アリシト云々傳 此神社ノ縁起

社人所持セルトコロニ小笠原家當地没落ノ時兩

社人ノ内一人ハ別心シテ甲別へ属セリ又一人ノ社人ハ

兼テ小笠原家ノ歸國ヲ祈リ常ニ神前ニ燈明ヲ

サ、ゲ祈禱懈リナキヨシ故貞慶歸參ノ砌社領

ヲ賜フトカヤ別心シタル一人ハ貞慶歸參ニ依テ怨

敵ノ意趣ノカレ難ク落失セシ時縁起マテ持行ヲ

ルニヤ紛失セリ其後尋子求レ共叶ハズ今アル

所ノ記ハ後ニ書記セル故體ナラス宮中ニアル所ノ

物ハ神祕ニテ社人モ見ルコトアタハズト云サレニ依テ

此社起祭年代知レズ松本ノ城主代ニ修造

ナリ祭禮等ノコトハ神社ノ部ニ記ス古書ニ

筑摩權現トアルハ此社ノコトナリ 是

筑魔郡ト称セル本ナリ當郡未曾ノ外ハ

過半松本領ナリ御代官新又ハ諏訪高

遠領少入交リテアリ 委下ニ 見

一 木曾環ヨリ北ハ國中ニテ他國へ降レル所  
ナシ郡境ハ西ノ方安曇界黒川ノ中央  
梓川ノ中央ナリ是ヨリ寅卯ノ方へ少

程斜ニ水曾川ノ東へ安曇郡入込テ成  
相組ノ大飼新田村一ツアリ其北東ノ山ニ  
尾入沢ト云アリ今ハ屏  
沢ト云フ此邊ニテ梓川水

曾川へ落合是ヨリ川ノ号屏ハト称ス委細ハ舊

俗傳  
見ユ

其下ニ熊倉橋アリ橋ノ北ニテ屏

川ノ西へ筑摩郡出張田沢村ノ内徳次郎

村川向ニアリ是レ屏川ノ流  
昔ニ替レル故ナリ塔ノ原村ノ邊

ヨリ北ノ方へ屏川ノ中央郡境赤科村

ヨリ更科郡大岡村ノ内桐沢村ノ邊ニテ

モ當郡ト安曇郡ノ境屏川ノ中央ナリ

舟場村ノ東ニテ更科郡少ノ程細ク屏

川ノ東涯出張所アリ是ニ桐沢村アル

ナリ即三郡ノ境ナリ

一當郡ノ北ハ桐沢村ヨリ寅卯ノ方湯光坊

ニテ松本領ナリ湯光坊ヨリ辰巳ノ方へ

更科郡ノ界共ニ皆山ナリ境目百姓等

論等アリシ地ハ別記ニ見ユ東ハ更科ト小  
縣郡ノ界室賀峠ノ西ヨリ半ハ小縣半  
ヨリ南ハ諏訪郡ナリ此兩郡界モ又皆  
山ナリ筑摩郡ノ辰巳ノ隅、諏訪伊奈  
郡ノ界ヨリ西南ノ方ハ伊奈郡ト木曾  
界前ニ見ヘタル黒川ノ中央ヨリ西ハ安  
曇云ナリ

當郡中與分

凡筑摩郡慶長十九甲寅年頃ニテハ惣

名ヲ府中ト稱ステ村里ノ與分モナリ

北筋南筋中筋等トシテ郷村テ分カテリ

其時ノ古羊水帳ニ残レル天概下ノコトシ

府中北山筋改帳村數十二長井阿坂市ノ川  
麻績矢倉野口

井堀高村栗山  
西条東尔月波

府中南筋改帳三冊村數二十三小野床  
平出中

一府中筋改帳村數十二  
内田 今井 岩垂 小曾部 西洗馬 小野沢  
針尾 古見 小坂 大池 竹田  
兩和田 兩栗林 兩神林 溝代  
神戶 小股 今村 二子  
泉 垣原 白姫 白川  
百瀬 瀬黒 竹瀨 次柳

一府中西筋改帳村數七  
出川 小嶋 野溝 平田  
燒山 嶋々 大野 田波 田  
三溝 兩新村 小宮

一府中改帳村數三  
松本 庄内 相原 介

右八石川玄番頭御改易領知没收之テ

後小笠原兵部太輔秀政入部、時改尋

ズルヨリ 郷中ヨリ 書出セル水帳諸役  
帳残りテ今ニアリ 其中ニ見ヘタル村里

分ケナリ 仁科 安曇 郡ニ載ル 是ヨリ 後松本領兩  
郡與分テ立村里シ 其内ニ屬セル當郡

中都而八與ナリ 其号 左ノコトニ  
但ニ松平 丹波 守以  
來松本領七万石ニナリシ時ヨリ 此郡ノ郷村  
分ケ減セラレ 高遠 諏訪 或ハ 御領所ヘ 別レリ

鳴立與

麻績與

會田與

岡田與

山家與

出川與

鹽尻與

庄内與

一組切村數石高八下二載八但三村々ノ号 共惣高ノ内引方屋敷地寺社地其外入下々等少委細別記見上

鳴立組村數石高

一 御朱印

村數十二

石高五千三百二十九石三升二合

一 國繪圖

村數十五

石高五千三百三十九石三升二合

一 當時在御

村數十五

惣高七千七百二十八石七斗四合

麻績組村數石高

一 御朱印

村數二十三

石高四千四百七十二石七斗四升二合

一 國繪圖

村數二十三

石高四千四百七十九石七斗四升二合

一 當時在郷

村數二十三

惣高八千六百八十二石八斗二升五合二勺

會田組村數石高

一 御朱印

村數三十

石高四千六百二十六石六斗四升二合

一 國繪圖

村數三十五

石高四千七百九十四石三斗九升二合

一 當時在郷

村數三十五

惣高八千二百五十六石一斗八升二合七勺



因田組村數石高

一 御朱印

村數十二  
石高三千六百五十八石五斗五升二合

一 國繪圖

村數十三  
石高三千六百五十八石五斗五升二合

一 當時在郷

村數十三  
惣高五千五百七十六石一斗九升六合二分

山家組村數石高

一 御朱印

村數十六  
石高三千三百六十七石一斗一合

一 國繪圖

村數十七  
石高三千三百四十七石五斗四升四合

一 當時在郷

村數十七  
惣高四千八百一石八斗二升一合

出川組村數石高

一 御朱印

村數八  
石高三千五百十六石五斗六升五合

一 國繪圖

村數七  
石高三千七百六十七石四斗一合

一 當時在郷

村數七  
惣高五千七百九十九石六升九合二分

鹽尻組村數石高

一 御朱印

村數二十六  
石高六千三百九十七石六斗八升七合

一 國繪圖

村數二十八  
石高六千五百八十七石四斗一升五合

一 當時在郷

村數二十八  
惣高一万二千五百五十二石八斗三升五合三分

川道榎等ノ委紐又郡境ニ接ラサル當

郡中ノ山嶽沢谷河池温泉堰堤橋渡

三升二合九分

除キ地ニ

圖ノ高正

記ス卜

所方

△<sup>ク</sup>ヨリツツ 出川組村數石高

一 御朱印 村數八 石高三千五百十六石五斗六升五合

一 國繪圖 村數土 石高三千七百六十七石四斗一合

一 當時在郷 村數土 惣高五千七百七十九石六升九合三斗

鹽尻組村數石高

一 御朱印 村數二十六 石高六千三百九十七石六斗八升七合

一 國繪圖 村數二十八 石高六千六百八十七石四斗二升五合五斗

一 當時在郷 村數二十八 惣高一万二千五百五十二石八斗三升五合三斗

庄内組村數石高

一 御朱印 村數十五 石高四千三百九十九石六斗八合

一 國繪圖 村數 石高四千三百九十九石六斗八合

一 當時在郷 村數十五 惣高六千六百二十九石七斗九升九合三斗

右筑摩郡松本領八與ノ都合

御朱印 村數百四十二 石高三万五千九百九十七石九斗九合

國繪圖 村數百五十七 惣高五万七千六百四十四石三斗三升二合九斗

但此御朱印ノ外六百六十七石七斗七升三合七斗八升新田  
元本を以て校合 久野を以て新田

○<sup>ク</sup>ヨリツツ 當時在郷

村數百五十七 但此國繪圖ニ同シ 惣高五万七千六百四十四石三斗三升二合九斗

但此 高辻ハ前ニ記ス屋敷地寺社地等ノ除キ地ニ  
テ加ヘタル故高多シトイヘトモ畢竟國繪圖ノ高正  
明ナリ 其内猶引方 損免等ハ別記ニテアリ

八與ノ内他郡へ境ハ出川等前ニ記スト

イヘトモ猶與切ニテ他領境口々番所方

角道程等ノ委細又郡境ニ接ラサル當

郡中ノ山嶽沢谷河池温泉堰堤橋渡

等聚ノ記スコト龍ノ如シ

田舎ノ事

ノ事

ノ事

ノ事

ノ事

ノ事

鳴立組

一此組ハ松本ノ城ヨリ未申ノ方ニ出川組

西ナリ山ハ未申ノ方へ出張ナリ是ヲ黒川

山ト云奥ノ山嶺ヲハ森ト云此嶺未申ノ方ハ

木曾領南ハ高遠領北東ハ松本領鳴立組ナ

リ猶西ハ同領安曇郡上野組ナリ

ハ黒川梓川ノ中矣ナリ前ニ委ク見ヘタリ此黒川山高

遠領松本領ノ百姓山論アリ公義御裁許ヲ

請ニ地ナリ委ク別記見エ山ハ松本領屋作木雜

木ハ高遠領ニ伐取松本領ニテハ當組後多村ニ

村等合雜木の賣木 黒川ハ八木林ノ半ヨリ出テ

北へ流ル 小沢大久保沢ハ西南ヨリ出テ黒川へ落ル

大久保沢ノ下ニ大榎岩トテ大キナル岩アリ西

よりき沢雪をけ流ハ中より黒川へ落ルから流よりき

沢名ハ魚い沢川津沢ナリ 流ハ流ニハ流僅法等ハ

南東ヨリ黒川へ落ルさき南東ヨリ出テ梓川へ落

テハ保赤松ノ保ナト云所アリ 猶小名多トテトモ

擧テ記シ難キカ故ニ略スエト何レノ山々モ同シ黒川

橋ハ丸木ニ本ヲ渡シテ長七間アリ 上野組嶋立組ヨリ

掛ル橋唐松山 黒川山へ波多村ノ邊ヨリ行

路ナリ 此路ノ南東領畧中下原平林下原ハ

波田分ナリ 此南東竹田村 古ハ高遠領中頃御料所トナリ今水野壹岐守領

新井村和田町境村等並ヘリ 委リ下出川組ニ見ヘタリ

此邊ニ用水堰あり川へ取ル上波多分遠

藤嶋押出ナト云所ノ邊ヨリ別ケテ神林堰

和田堰トス又粟林堰ハ三溝安養寺ノ北ニ

リ新村堰ハ押出邊ニ別ケテ東へ流安養寺

ノ邊ニテ東新村ノ用水分テ取ル樽川トテ梓

川ヨリ堀米へ諸木ヲ流シ入ル枝川アリ東

流凡是ニヒリ田中ち七ありトテ樽川別

アリ下ハ新橋ノ上成相與青嶋ノ南ニテ木曾  
川へ落ル又和田堰ハ是ヨリ南ニテ南栗林村  
ノ邊ヨリ木曾川へ落ル此南和田或ハ出  
川與ニ子村棍海渡村ト並ベリ

一 波田山古城路アリ古城記此北新池アリ此流ル

左右竹藪アリ亦松原予前林ナリ此松原ヨリ毎秋  
人沿ト云葦草出ル

又神社寺院等ハ別ニ委ク記ス故爰ニ略ス

一 堀米ト云所諸杙木薪等ノ渡場アリ

定番人ノ長屋又杙木小屋アリ西山ヨリ

出ル諸木梓川ヲ流シテ樽川ヨリ此所ニ

入シ積立テ置用木トス家中ノ新是ヲ流シ  
木ト云フ

等モ是ニアリ奉行ノ切手ヲ以テ渡スナ

リ

一 此與西ハ屏川ヲ際リ文麻績ナリ南ニテ  
 少ノ程園田組界アリ川ノ西向南ハ嶋立組  
 ソレヨリ下ハ安曇郡保高池田大町組  
 界ナリ北ハ松代領境東ハ押廻セリ東ニテ  
 ハ上田領境モアリ鷹鳥打場 ありまよノ邊  
 一 屏川 又屏川ト号ス所以等ハ舊俗傳ニ載ル  
 此川ノト水上ハ安曇郡ノ上野與梓川ノ下ニ見ユ

麻績組

一 此與西ハ屏川ヲ際リ文麻績ナリ南ニテ  
 少ノ程園田組界アリ川ノ西向南ハ嶋立組  
 ソレヨリ下ハ安曇郡保高池田大町組  
 界ナリ北ハ松代領境東ハ押廻セリ東ニテ  
 ハ上田領境モアリ鷹鳥打場 ありまよノ邊  
 一 屏川 又屏川ト号ス所以等ハ舊俗傳ニ載ル  
 此川ノト水上ハ安曇郡ノ上野與梓川ノ下ニ見ユ

筑摩安曇兩郡ヲ流シテ更科郡ニテ千  
曲川へ落合ナリ此川中央郡境ナリ下生  
坂野原沢ノ邊ニ尾崎瀬ト云所ナリ是  
ヨリ松代領越中川村ヲテ十八町五十一間  
内十六町二十七間尾崎瀬ヨリ領目ヲテナリ  
環目ヨリ二町二十四間越中川村ヲテ  
屏川ノ涯ニ大岩アリヒダス岩ト云此ニ大石  
アリ又少北ニ子持石ト云大石アリ此石領境  
ナリ北ノ方へ押廻シ下生坂松代領トノ

環ナリ松本領ニ込地村アリ古名ハ平ノ  
トウ平ナトアリ尾崎瀬口ヨリ松代領桐  
沢マテ十七町二十七間内十一町此方ヨリ環目ヲテ  
二十三間程アリかりめき峠を越松代領小松尾  
村いちご沢村ナト云此いちご沢ヨリ  
桐沢マテ三十五町四十六間松本領高村い  
ちご沢マテ十一町二十間此道出口高村番  
所アリ即高野茂兵衛コレヲ守ル高村ヨ

リ松代領大田村マテ二里二十八町九間内

村ヨリ境目マテ十一町三十間塚目ヨリ是ヨリ  
大田村へ二里十六町三十九間

東同組上井堀村ヨリ松代領へ路二筋

アリ一筋ハ足田小屋通リ松代領入相

山道ナリ上井堀村ヨリ此此路ハ高村ヨリモ

行又一筋ハ小渡切ト云フ山ナリ是モ同入

相山路ナリ此東ニ大渡切ト云フ山路アリ

右ニ小高瀬ト云フ山アリ此道松代領中

牧村マテ上井堀村ヨリ二里十二町内堀村

ヨリガガガ峠目マテ三十三町ガガガ峠  
ヨリ中牧村マテ一里十五丁

小高瀬ノ東ニいき北ト云所山路アリ此北ハ

松代領ノ山林入難レリ惣方ノ百姓山論アリ

争論御裁許  
ノ部ニ見ユ  
ど海岸山あと云フモ此邊

ナリ録取場論所ヨリ起湯光坊此路境

目ニ土橋アリ馬塚トテ道ノ右ニアリ松代

領中原村へ市ノ川村ヨリ一里十六町四十三



間 内ノ川ヨリ境目マテ二八町四十三間境目土橋 此

方ノ道ヲ 猿ヶ馬場ト云フ路ノ東ノ側ニ池

アリ池ノ南東へ分レ路アリ松代領八幡村

へ市ノ川村ヨリ一里二町三町四十八間村ヨリ

小坂峠境目マテ二町三町四十 此邊ニ風越ト云所

ハ間コヨリ八幡マテ一里 當国名所ノ一ツト云傳へタル共類名アリハイ

峯ト云山モアリ火立湯ノ右ニ路アリ永

井村ヨリ松代領八幡村へ二里十町十四間

内永井村ヨリ風越峠ノ峯境目マテ

長者ガ厩峯ノ路ニ筋一分レ尤ハ永井村ヨ

リ八幡村へ二里二町二十一間 内永井村ヨリ就鳥

三十一間境ヨリ八幡村マテ 右ハ物見岩ニテ別

レテ永井村ヨリ松代領羽尾村マテ一里三

十四町五十六間 内永井村ヨリこの内ノ峠境目マテ

冠着峯ノ右ニ道心ガ峯ナラベリ 此右ニ路

アリ永井村ヨリ 此ノ岩ヲ通りテ上ニ

テ二筋ニ別レ矣松代領山田村へ二里三十四

町三十二間 内末井村ヨリ四十八曲リノ峯塚マテ一里七町三十二間畷目ヨリ山田マテ二十七町

右ノ路ハ松代領出浦村マテ二里二町十二間 内末井村ヨリ横藏峠境マテ一里十三町十二間境目ヨリ出浦マテ七町五丁 此横倉ノ峯ヨ

リ西ハ松本領筑摩郡北ハ松代領更科

郡南ハ上田領小縣ナリカハつけノ峯東峯

通ノ路 志ひと越ト云ニヤ 此路脇ノ雨池ト云アリ此道

安坂村ヨリ上田領室賀村へ二里十間 内安

坂ヨリ東峯ノ境マテ一里二十五町東峯境ヨリ室賀村マテ十四町 此路ノ南安

坂村ノ枝村横入新田ト云アリ其ヨリぶ屯

塚ト云所ヲ通ル路アリ此右ニ下ノうみ沢ト

云アリ又下ノうみ平ト云安坂村ヨリ上田

領浦野町 又馬越マテ三里三十町十四間 内安

坂ヨリぶ屯塚境目マテ二里十四間境ヨリ浦野マテ二里三十町 此所ノ路ハ巳午ノ方へ越スナリ

安坂村ヨリ上田領志ノ村マテ二里三町

此所ノ路ハ巳午ノ方へ越スナリ

安坂村ヨリ上田領志ノ村マテ二里三町

内安坂ヨリ石ノ本峠境目一里  
二十四丁境目ヨリ石ノ本村テ十五丁  
のまじり

麻績與會田組ノ界ナリ是ヨリ北西へ押

廻シテ川チマテ皆麻績組ナリ此組ノ内

郡境ニ接ラサル山川略下ニ記ス鷹野市場

ト云ハのまじりノ西ナリ是ヨリ西へありま

山ト云あり北ハ麻績與南ハ會田組ありま山ノ北ニ石ノ橋

祝あり矢倉村ヨリ行ケル善道寺ト云寺モ此村ナリ又矢倉村ヨリ己

ノ方ニ古城山あり此外古城古屋敷ノ跡多シ都テ十九変リ古城記ニ見ユ

此邊ヨリ會田與成亥ノ方へ出張シリ

桑園此所ハ下庄坂ノ東ニテ高村ノ未申田沢村ノ方ナリ是ヨリ次ハ又川チノ南ヨリ載ル

ノ辰巳ノ山ニ石ノ神ノ祠アリ其邊

ヨリ出ル沢川アリ大口沢ト云村ノ北ニテ屏

川へ落ル光村マテノ間ニ高松沢い足ノ沢

ト云アリ亦東ノ山ニ古城跡アリ光村ニ

宗林寺長光寺アリ東ノ山ニ古城地アリ

塔原村ニ法音寺雲龍寺給然寺アリ

東ノ山ニ古城跡アリ明科村ノ南ニ龍門寺  
ト云アリ小谷古城村ノ東ノ山ナリ會田川  
東ヨリ流テ屏川へ落ル水上ハ會田組ニ見ユ潮村此  
村ノ東ニ潮沢村山中村大足村アリ此村々  
東ノ山ニ依峯ノ城篁ノ城跡アリ本沢ノ南ノ  
ニモ城跡アリ潮沢ト云沢川モアリ上生野  
村大池沢東ヨリ出テ屏川へ落ル小立野  
村東ノ山ニ中ノ城ト云城跡アリ高松沢

東ヨリ出テ屏川へ落ル下生野村東ノ山ニ大池ノ城猶  
東ニモ古城アリ下生野ト上生坂ノ境ニ沢アリ  
東ノ山細尾留山ノ方ヨリ出テ屏川へ  
落ル池沢ト云上生坂村此所ハ松本領たんと  
ノ出ル地信濃生坂たんとこと今ハ名物  
敷ノ入ト云ヤ就中殿村石原ナト云地ヲ勝  
レリトス又照明寺ト云寺アリ此寺地ヨリ  
出ルたんとこと能トス此近邊ノ村々ハ

田方少キ故多々たるとして作り他國一高買  
 する事りより生坂村の東より小尾の地  
 七ヶ跡あり日岐の太城ハ生坂東小  
 あり物見老き申うらう太城ハ生坂東小  
 老と云所あり 潮沢小立野上生以下生坂四ヶ所ニ竹藪アリ守護寺前藪  
 下生坂より眠床と越野原沢ノ川 此川ノ下尾畔  
 瀨ノコトハ 前ニ見ユ と渡り下生坂の円相を云枝村  
 あり是より松代領切沢村ノ大境 前ニ見ユ

タルワリのき 野原沢ハ倉田組仁熊竹場  
 ノ東西ノ山々又麻績與湯光坊ノ方山々  
 ヨリ出ル沢々落合テ込地村ノ南ヨリ子  
 持石ノ上ニテ屏川へ落ルナリ 又込地川トモ云是ノ川ナリ  
 込地山ハ此川ヨリ南ニテ仁熊山ノ西ナリ  
 此込地山手前林留山ニテ雑木多シ古  
 ハ鷹モ出タリ上生野ノ方ヨリ東ニ鷹  
 打場ト云所モアリ是ヨリ山續キナリ

一麻績町村ハ善光寺松代等へノ往還ナリ

此所出口ニ番所アリ 口ニ番所ノコトハ 是ヨリ 別記ニアリ

市ノ川村ヲ通林猿ノ馬場峠ナリ 委前見ユ

法善寺 御朱印アリ 光明寺ナト云寺院アリ

麻績式部大輔居城ノ跡町ヨリ 亥ノ方

ノ山城ナリ 猶寺社古城等ノ委細ハ別記ニアリ

一市野川村北ニ牟前林アリ 麻績町ヨリ

道アリ

一會田組青柳村ヨリ 麻績與下井堀村

マテ二十六町四十六間此ノ往還ニ切石ト云

アリ又道ノ東ニ小切石ト云アリ 是ヲ切通

シト云青柳町ヨリ小切石マテ五町五十

二間小切石ヨリ下井堀マテ二十丁五十

四間

會田組

一 麻績組界 ありま山の東鷹打場 前。此

ヨリ南會田山ニ小谷場堂平ナト云所アリ

猶南ノ路東條村ヨリ同枝村大沢新田

通り峠又越上田領田沢村マテ三里五町

内東条ヨリ本峠境マテ一里十町余 東條村

本峠境ヨリ田沢マテ一里三十町余 出口ニ番所アリ又大沢新田ヨリ流ル

大境へ行路三十町是ハ相吉新田ヨリノ

一 麻績町村... 一 會田... 一 會田... 一 會田... 一 會田... 一 會田... 一 會田... 一 會田... 一 會田... 一 會田...

道ト環目ニテ出合フナリ大沢新田ヨリ相  
吉新田へ行路ヲ細越ト云此邊ニ天狗岩  
ト云アリ相吉新田ヨリ寅卯ノ方へ行路  
上田領田沢村へ二里八町四十七間 内相吉ヨリ  
境マテ三十五丁十七間環目ヨリ  
田沢マテ一里九丁三十間 此相吉ハ横川  
村ノ枝村ナリ横川村出口ニ番所アリ此  
横川ハ東ノ山相吉ノ方又善入寺ノ方ヨリ  
出ル沢々ナリ 横川村ノ南西ニ矢  
行藪アリ 此南ニ矢久村

東ノ山ニ大瀧アリ 高ニ 其側ニ天狗岩  
屏風岩ナト云フ大岩アリ此瀧ノ下矢  
久村召田村ヲ流レテ横川トツニナリ  
西へ流ル月沢川落合テ 此勢子道保福寺ノ番所ヲ避  
クセチ山ハ久末ニケ路山ト云フ  
勢子路ナリ 此勢子道保福寺ノ番所ヲ避  
テ道レ行者此所ヲ越ルカ故ニ時トシテ保福寺  
ヨリ廻リ段ル道ナリ當國ノ御談ニ遊行者  
ヲタテ行ト稱スルカ故此山路ノ号モ其義ナリ  
リ然ルニ元禄ノ繪圖ノ時ヨリ今セチ山ト記  
シ来レリ又たノ記ナリ活ハ處ナリ上田領  
葡萄園沢ニ云ニ誤レリ



市ノ沢村へ二十六町五十間くらせり

南保福寺峠マテノ間ニシテ山々せり

沢ノ人ぞノ沢高人沢鞍骨沢山ナト云

アリ保福寺町ハ松本ヨリ江戸へ往來

ノ路ナリ故ニ道程記見ユ但保福寺町ヨリ

丁五十八間塚ヨリ上田領奈良本マテ一里二十六

八町二間又坂本領内村マテ三里二十六丁三十間

内峠塚合レ路ヨリ内村マテ町ノ南ニカキア

ク城ノ跡アリ町ノ出口ニ番所アリ町

外ニ保福寺ト云昔ハ鷹巣山故留山ナリ道ヨリ南月

沢山ト云アリシテ鷹ノ巢モタヘケルニ依テ炭釜

ヲ願運上ニテ炭ヲ焼出入所ニ元禄二己年鉦山

願四ヶ村ヨリ願ニヨリテ入合ナリ炭釜止又

トヤリ炭年ヨリ沢通り炭ツクモおが沢

是保福寺町頭ヘツキテトヤリ炭年ハ高

キ山ナリ稲倉山トノ境ナリ大らイト云フ

山アリ月沢山ノ内ニテ保福寺分ノ大山

ナリ祖ニ草木ハ鉦山領ノ山境南ハ丸山

峯ヨリ尾根通保福寺町裏ノ城山  
マテ北ハ大野田入舟久保峯ヨリ尾根  
通り流ノ沢峯北平保福寺町分林ヲ  
境目ナリノ鉛山領ノ村々ハ金山赤好  
及町殿ノ入古瀬赤奴田此分正徳三巳年  
水野肥前守知行所トナリ委細別記載ル  
但シ四ヶ村合テ七百拾六石五斗一升二  
合ノ所ナリノ鉛山ハ此村々ヲ付ラレシコ

トハ鉛山ハ人歩入ルカ故保福寺剎屋原  
ハ驛路ノ宿場ニテ此鉛山入用ノ人足出  
スコト成難旨訶ル依テ後ニ右四ヶ村ヲ附ラ  
レテルコトハ下ニ見エ此金山始リハ石川玄番  
頭松本領守ノ時慶長年中保福寺ヲ  
シカ澤ニ鉛山ヲ見出セリ然レトモ鉛ノ吹  
分ケヤウヲ知ラズ其頃甲列浪人耳利藤  
内ガ子弥右衛門鹽尻ノ邊ニ居住ス其

家來庄ハト云フ者カ子ノ吹ヤウヲ知ル由ツ  
聞テ彼耳利ヲ保福寺へ招キ寄セ居ラシメテ  
鉛ヲホルコト十一年ハカリハ守護へ達スル程ニテ  
モナキガ故ニ内證ニテホラセテ其後耳利今ノ金  
山村へ越テ住セリ元和元年小笠原兵部  
太輔秀政松本城主ノ時保福寺町ノ下  
南ノ丸山澤ノ下行入平ト云處ニ能力ナ山ヲ  
見出シ鉛出ル此節ハ大坂御歸陳ノ砌ノ故

耳利弥右衛門鉄炮玉ヲ鑄テ山城ノ國  
伏見マテ持参シテ小笠原右近大夫忠政  
へ献シテカナ山ノコトヲ注進ス即 公義へ  
言上ノ所ニ御嘉運ノ山ナレバトテ 公義へ  
差上ヘキ由命セラレテ御金山トナルニ依テ  
翌元和二年檢使トシテ徳山五兵衛佐  
渡ヨリ此ニ至リ江戸へ歸ル此時御代官  
井上新左衛門支配トシテ八年ノ内日々堀

出ス。鈔半分上納。残テ半分金堀元又ニ  
下サ。ル是荷分クテテ。依渡ノ國御金山ノ  
法例ナリ。トカヤ元和三年小笠原忠政幡  
別明石へ得替ノ砌殿入村ヨリ七山風村ヲ  
御藏入ト成ルヘキノ所ニ七嵐村ハ松本ヨリ  
保福寺通リ江戸往來ノ路ナル故馬次ノ  
助郷ノ由保福寺町ヨリ願フニ依テ殿入  
村赤奴田村及町村三所高五百石御代

官所トシテ是ヲ御金山料ト云フ金山村ハ

高ナシニテ鈔ヲ上納セリ井上新左衛門ハ元和二年ヨリ同九癸亥

年ヌテ御金山支配ナリ寛永元甲子年ヨリ御代官

高田小次郎同三丙寅年此時鈔山悉敷ナルニ

依テ運上鈔二十八貫目ニ定リ上納ス寛永

四卯年御代官乙畑半右衛門支配運上

鈔右ニ同ニ同五辰年御代官設樂長兵衛

近山五兵衛支配トナリ翌己年殿入赤奴

田及町へ竿入テ高七百石餘ニル金山村ハ  
前ノ如ク運上銀二十八貫目上納ナリ寛永  
八年能キ山ヲ見出シテ銀出ルニ依テ運  
上銀増テ七百貫目ニテ九申年ハ又増  
テ三千二百貫目ニテ同十酉年又増テ四  
千貫目ニ成リ同十一卯年ハ山色悪ク運上  
銀三千五百貫目上納ス同十二亥年ハ彌山  
悪ク銀出サレ故前々ノ通り運上二十八

貫目ニテ  
設樂長兵衛近山五兵衛兩人  
支配寛永十五年マテ勤ル  
堀田加

賀守正盛松本城主御蒙リ翌寛永十  
六年御金山料預リニ成リテ御代官止  
此時ニ運上銀二十八貫目ナリ同十九壬午年  
水野隼人正忠清公領主ノ時ニ相續キ預  
リニテ運上銀同前  
但ニ物成ハ年々公義  
收納口米ハ會田組支  
配ノ代官役ノ者ハ  
取テ遺ス  
忠職公ノ時銀少ク沙  
依テ屋敷跡山畑年貢ヲ定運上銀

二十八貫目ノ代トシテ金子一兩ツ、上納ノ旨  
言上明暦元年ヨリ延寶元丑年マテ  
十九ケ年ノ中金子一兩ノ、上納ナリ忠道  
公ノ時延寶二寅年四月金山村へ竿入テ高  
七石一斗七升一合ニ定リ運上銀代ハ止ヌ  
其後元禄二巳年御金山料御代官所ト  
ナリ太田作之進支配ニ御付ラルニ付年  
代淺井吉右衛門小林喜太夫ヲ差越同

年七月二十四日赤奴田村角兵衛宅ニ於テ帳  
面等引渡ス此年彼四ケ村願出テ月次山太田  
作之進支配十年ニシテ元禄十二卯年六  
月御代官替リ高谷太兵衛正徳二壬辰年  
マテ十四ケ年支配同癸年八月御代官替リ  
平園三郎左衛門支配トナリ同年十月十  
六日水野肥前守知行所ノ内ニ下サレ  
一七嵐村ヨリ北方ニ稻倉峠山ハ壹岐守領

ト入合地境ハ白をり山ナリ

七嵐村山ニ古城ニテ所別記ニ見ユ

又長命寺ト云フ寺アリ縮倉村ハ園田組ナリ七嵐村ヨリ一里二十六間内七嵐ヨリ峠ノ峯マテ二

ナリ丁ニナ九間峠ヨリ縮倉村 荊谷原町村

マテ十五丁五十七間

七嵐ヨリ西ノ方鷹住根ノ古城別記ヨリ南園

アリ亦洞光寺ト云真言宗ノ寺アリ

田町村へ峠アリ荊谷原峠ト云フ

坂ノ西ニ有ル山アリ又荊谷原ヨリ園田へ

猿飛石トテ大岩アリ

一里十八町三十一間

内峠ノ峯マテ十八丁二十三間此

道松代領へ往還故所々ニ記ストイヘトモ

又此ニ載ル園田與坂ヨリ松代領ト

ノ境目湯光坊五橋マテ七里十町四十一間

荊谷原ヨリ西ハ麻績組川手ノ田沢ノ方

ナリ其中程北ニ執田光村ト云所ノ山ニ矢

筈竹藪アリ又荊谷原ヨリ北へ往還ハ金

山料壹岐守反町ノ東北夕月沢川流ル橋アリ

横川ハ東ヨリ流ル橋アリ此ニツノ川橋ノ

下ニテ落合是シ會田川ト云フ

水上並川下ハ前ニ見ユ

會田町 是ヨリ。又寅ノ方ニ虚空藏山ノ古城アリ

又會田町ヨリ 亥ノ方ニ雨ノ山ノ古城又  
小岩井村ニ中野陳古城又西ノ宮ニモ古城  
猶所々ニ古城多シ別記ニ委ク見ユ 會田

町ヨリ 北乱ノ橋ニテ一里九町十九間 峠アリ

俗ニ立峠ト称ス  
嶮キ峠ナリ 乱橋村ノ東ノ山ヨリ毎年

六月朔日氷ヲ領至へ上ル 小キ洞ニ寒中ヨリ  
雪水タ、上テ復マテ

アリ此上ニ氷明神トテ小キ祠ヲ立テ  
タリ當國ニテ氷室ノ例ニ准ルナルヘシ 乱橋

村ヨリ辰巳ノ方原山村ト云所へ行路ヲ

風越峠ト云ス此峠路ノ左ニ布引岩ト云

アリ同右ニ志ヤカノ岩ト云アリ 所ニテハ當國  
名所ノ風越

是ナリトイヘトモ  
正説トシガタシ 中村ト云所ニ碩水寺ト

テ御朱印アル寺アリ 此外寺院神社等ハ  
別記ニ載ルカ故ニ略ス

一北山ノ西麓ノ城峯是麻績組界ナリ古

城記麻績與ノ所ニ記ス是ヨリ南ニ志ヤ

カ形ト云所執田光村分ナリ 此所麻績

與境



會田町... 奥... 一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十... 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十... 二十一... 二十二... 二十三... 二十四... 二十五... 二十六... 二十七... 二十八... 二十九... 三十... 三十一... 三十二... 三十三... 三十四... 三十五... 三十六... 三十七... 三十八... 三十九... 四十... 四十一... 四十二... 四十三... 四十四... 四十五... 四十六... 四十七... 四十八... 四十九... 五十... 五十一... 五十二... 五十三... 五十四... 五十五... 五十六... 五十七... 五十八... 五十九... 六十... 六十一... 六十二... 六十三... 六十四... 六十五... 六十六... 六十七... 六十八... 六十九... 七十... 七十一... 七十二... 七十三... 七十四... 七十五... 七十六... 七十七... 七十八... 七十九... 八十... 八十一... 八十二... 八十三... 八十四... 八十五... 八十六... 八十七... 八十八... 八十九... 九十... 九十一... 九十二... 九十三... 九十四... 九十五... 九十六... 九十七... 九十八... 九十九... 一百

岡田組

一 松本城安原町ヨリ北へ出テ往還ノ西

此邊サイカ子原ノ南庄内組堺アリ

下岡田分ノ山アリ麓ニ

大門池神沢堤 下岡田分ナリ此地庄内組堺ナリ 鹽倉ノ堤ニツアリ

とや峯麓ニ田溝堤中ノ堤矢作ノ堤ナテニテ所

アリ井深村ハカノ山ニ長峯ト云アリ此右ノ

路ニ三ツ石トテアリ麻績組田沢ハ山山ニ

山路ナリ是等ノ山裏ハ川手道ナリ

是ヨリ東ハ北ノ境ノ山ニ猿ヶ尾湯ノ服赤  
淡沢舟ヲ次ナト云アリ此南ニ安戸堤ニツ  
アリ井深村ニ慶光寺ト云曹洞宗ノ寺  
アリ此山ニ古城跡アリ井深村ヨリ北へ  
越ス道好シ系ヨリニ廿助ニ別レ左ハ駒飼峠  
轡子路ヨリ右ハ仇坂ニ是田ヨリ苜谷原 此路ノ右ニ  
中ニさみ堤ニツアリ是ヨリ東ニ稻倉峠  
往還 路ノ右ニ了ニ海岩トテ大石アリ 此岩ニ物  
ナリ 音響アリ

大崩ト云モ此峠ナリ 道程ハ前會田組  
七ツ風村ノ所ニ見ユ 又東ニ  
御射山 又ニオ山トモ  
虚空藏アリ ヨリ金山領へ出ル山路  
アリ一ツラガ故ト云萩ノ法トコニあゆ屏風  
岩ナト云モ此近所ナリ猶東へツラ山々  
石ハトト大々ト海ぬま大あぎニ正寅  
ノ隔ニ坂木領内村へ出ル山路ヲ窓ト云フ  
山合ノ明  
タル所ナリ 御射山ヨリ此窓ノ峯マテ一里  
三十三町東へ押廻シテ白岩ト云山瀝たなち

たり打板取木場ナト云山々何レモ峯通

小縣郡境ナリ洪<sup>ノ</sup>を<sup>レ</sup>わ<sup>レ</sup>る<sup>ノ</sup>西ノ方前山

ノ峯ニ鳥帽子岩ト云アリ其形ノ似タル故ニ名トス  
遠方ヨリ能見ス

此西ニ嵩ノ尾ト云山アリ是等ハ郡境ニハアラ  
ス田田組ノ中ナリ

板取木場山ヲ越シテ内村領へ出ル路アリ

又此南ニモ山路アリ是モ同所へ出ルナリ

此峯マテ三ヶ山ヨリ二里二十四町是ヨリ  
東ノ山

裏ハ上田  
領ナリ此所ヨリ南ハ山家與ニ記ス

一 水汲川ハ東ノ山板取木場た<sup>レ</sup>打鳥帽子

岩ノ邊ヨリ落ル沢々ナリ此鳥帽子岩方

ヨリ出ル川ヲ不動瀧ト云是ヨリ西ニ中ノ

沢入地獄沢此ニテハ南ノ  
方ヨリ出ル本沢瀧ノ入淀ノ入

是等ハ北  
ヨリ出ル又あ<sup>レ</sup>の田ノ堤ノ落口或ハ三ヶ山

虚空藏ノ邊ヨリ落ル小川北洞村ノ近

所ニすま<sup>レ</sup>ハケ<sup>レ</sup>在田ナト云小池ノ流ニ等

モ落合又稻倉井深園田村等ヨリノ小

堰谷水此川へ落

古ハハ常ニ水アル川ナレト  
近年時トシテ湯水スレ

木立少クナリタル故  
ヤト云云

此川松本東川原へ出

テぬこし川と云フ事水汲橋アリ

此橋ハ淺間路  
ナリ 午前橋

同所ニ瓦作り場小屋アリ

同瓦釜アリ

此所ニテ午前細工  
合羽等タモ捲ル

是ヨリ寅ノ

方浅間村ニ温泉多シ昔大飼氏ノ入久シ

ク領モル地ナリニ故是ヲ大飼ノ御湯

ト称ス或ハ犬養トモアリ 委細安曇郡境成相與ノ  
所又舊俗傳ニ見ユ温泉ノ古歌ハ名記ニアリ

湯ノ沸出ル所々ハ山ノ下ノ湯白湯

是昔ヨリ  
湯ノ中ニ

白アル故ニ号ス此  
ニハ茶屋庭ニアリ

堀ノ湯薬師ノ湯新湯

是等  
ハ茶

屋迹 又村ノ西テ輪ニ柳ノ湯ト云アリ

家中諸士  
入湯小屋アリ

其取ニ小柳ト云フアリ

是ハ所ノ者  
持分ナリ 村ノ南ニテ東

テ輪ニテ湯ト云フアリ惣テ入込ノ湯場ニ

アリ又所ノ者屋敷内ニモ望次弟入湯所

ヲシツラヒ置テリ茶屋ハ城基ノ入湯所ナリ

古ヨリアリ來ル何レノ時建始ルニヤ知レル  
者ナシ湯守小白治菴代々勤ナリ

此處ニ小笠原

家ノ靈屋アリ 貞慶秀政忠脩  
三人ノ位牌アリ 昔ハ大隆寺トテ昔

提所此靈屋ノ邊ニアリシカ右近大夫忠政播

及明石へ得替ノ時從ヒ往キテ今ハ寺跡残

ラス中修覆アリシ後忠直公盡工ニ命シテ舊キニ依

テ彩色ヲ加ヘサセラシ且ツ山林少シ寄附アリテ同

所神宮寺へ預ケテ 此靈屋古稀葺ナリシカ享保九年神宮寺  
願トシテ郷民修覆シヌカシカス葺葺トセリ

神宮寺妙心寺直未ナリ 境内山ノ半腹ニ藥師

堂アリ 今ノ堂ハ延宝年中青陽院殿ノ願ニ依テ再  
營アリリシナリ

一 此組ミ古城ノ跡ハ淺間ニテ所 横屋入山  
茶臼山 洞村

井深村 古城 三才山 古城 稻倉山 古城

皆古城記ニ見ユ

一 女鳥羽ハ淺間村ヨリ南ナリ此山ニ冷水ノ

瀧アリ 忠職公此地ヲ見立テ、女鳥羽ト

名付ラシ 當家ノ廟所トスヘキ志アリニ故

忠職公卒後寛文九年忠直公其志ヲ繼テ

真珠院殿道樹院殿ノ五輪及石ノ鳥居ヲ  
建ラル此地。昔ヨリ道心者人住セテ菴室  
アリシヲ請ヒ取テ廟所守ノ僧ヲ置キ  
上昌山玄向寺ト稱セラレ是即忠職公  
法名故ナリ此山  
半腹ニ觀音堂アリ元禄八乙亥年四月  
忠直公ノ草創ナリ圓通閣ノ額ハ慧光  
院四世江堂ノ筆ナリ觀音堂建立ノ関  
眼供養ハ則江堂ヲ道守師トス當山ハ昔

提所ニ屬スト云ヘテ春了寺ハ城主所  
管ノ時ニ隨ヒ行ク寺ナル故ニ後世ニテノ為  
觀音ヲハ慧光院又道守師トセラル然レトモ  
所由アリテ元禄九丙午年十二月觀音ヲ  
春了寺ニ附セラル玄向寺ヲ増上寺未寺  
定メテ供養ノ時江堂ヨリ石燈籠ニ基  
ヲ寄進セラル其外家中諸士ノ中ニ繪  
馬等ヲ献セシモアリシナリ堂ノ前ニ舞臺

アリ 二王門ノ額ハ上昌山トアリ 佐々木  
玄龍ノ筆ナリ フレヨリ 觀音堂マテ四町  
程アリ 此路ニ六地藏アリ 又谷間長三間  
ノ板橋アリ  
觀音堂ノ向ヒニ富士權現ノ小社並鳥居アリ  
瀧口樋ニツアリ 石ノ手水鉢アリ  
石ノ鳥居ヨリ 石階ヲ登リテ石ノ玉垣アリ  
代々ノ宝塔西向キニ立テリ 其前ニ石燈云

籠ニ基アリ 鳥居石燈籠共ニ寛文九  
配年六月二十六日春了寺圓道代下刻  
記セリ

同所北ノ方 忠直公ノ實母昇仙院殿  
長譽言映月妙允大姫ノ石塔 並 忠直公  
ノ庶子ノ中早世ノ石塔アリ





足へ出ル此境々々松本東門ヨリ四里ニ  
十二丁余猶南ニ本澤朱澤 だんさ海  
おかの汰 澤此等奥ノ峯通 和田  
界ナリ是ヨリ南ハ諏訪郡埴横山ト云  
アリ又ハ峯瀬ト云フ山 當郡東ニテノ辰巳ノ  
大山ナリ  
隅ナリ前ハ峯瀬又南ノ方大ニ入南ハ  
諏訪領五千石境ナリ此所ニ埴原へ出ル  
道アリ大佛入一ノ沢熊倉平大ニ入

芝山千鹿頭山マテ峯通領坂ナリ

千鹿頭山峯ヨリ北ニうららこ山松本領ナリ此  
麓ニ愛深川ト云フ小キ流アリ所ニテハ各所ノ中ト云ヒ  
傳ヘタリ うらこ山ハ 云フ云モ誤マレルモノ  
ナラント云フ説アリ 艦ナラサルコトナリ

八峯瀬ノ此方ハ中入分ニテ わさひ沢白山  
白山澤大ニ澤市ノ澤 又大菱入ハ薄町

分ナリ北入分宮原舟付 此舟付古へ潮水ノ  
時ノ名ナリ舟ヲ

ツナキシ石モアリ此邊ニ  
小キ薬師堂アリ 南方ニ古城アリ

かこの鼻 此所林村ニ慈眼寺ト云フ真言宗ノ寺  
アリ山号ヲ金華山ト云ハこのところトハ

古へカ子ノハナヲ云て  
誤ルノヨシ云と傳フ

林村ハ古へ小笠原氏

領主ノ時居住ノ地ナリ城跡館ノ跡モアリ

リ是ヲ林ノ大城小城トテニテ所共ニ高山

ナリ近所ニ橋倉大嵩崎ナト云フ村アリ

廣沢寺トテ小笠原家ノ菩提所曹洞宗ノ寺アリ

近年御朱印ニナル委クハ  
寺院ノ類ニ見ユ

中入村山桐原村

山ニモ城跡アリ何レモ小笠原家ヨリ持

テル城々ナリ

古城記ニ  
載ス

一薄川東ヨリ西へ流レ水上ハ横山澤ナリ

又一筋ハ北ノ方茶白山志いダ坂ノ邊ヨ

リ出ル舟が沢本沢朱沢わる沢ヨリ以沢

白山澤一ノ沢海岸寺沢ナト皆此川へ落

川下ハ松本馬喰町ノ南ヲ流レテ田川ト

落谷庄内組宮湊ノ邊ニテ木曾川へ

落ル又此川ノ橋ハ既所橋中入分既所

アリ  
三尺

長六間中入村ヨリ南ノ路へ一橋是

よき <sup>き</sup> 橋ト云フ 長六間ニ足是私人東山ニ入ル時  
コニテヨキヲトク故ノ号ナリトヤ

此橋北ノ路ヨリ南へ渡リ南東ノ山

至ル船付橋 長六間 是ヨリ川下ニ <sup>か</sup> の

鼻へ行路一橋是ヲ八龍橋ト云フ 長七間  
二足

此下ニテ神田堰ナル

一山家ノ温泉湯ノ原村ニアリ 古歌ニ見へ

タル白糸ノ湯トハ是ナリ 證歌ハ名所  
歌寄ニ見ユ 筑

摩ノ御湯ト云フモ是ナリトカヤ

一猶此與ノ内山或ハ澤川等ハ大平ノやのハ

茶臼山ノ前ナリ大門沢ハ志い坂ノ路筋アリ

其西ニ王ガ鼻ト云山ノ南ノ澤ヲ昔蒲沢ト云

同此筒井入赤北入ヨリ国田山ノ方へ行路

追倉入芝山ノ上ヲ通ル此東岩下ト云山ア

リ其東北ニ <sup>か</sup> 之沢ニテ大村ヨリノ道ト出

合ノ是国田與大村ヨリノ道筋国田山家

ノ與境ナリ <sup>か</sup> 之の北新杭アリ此

所へ三ヶ山ヨリノ道のけしきナド云フ所ヲ  
通リテ出合と御茶屋場通リ小縣郡内  
村へ行ナリ

一湯ノ原ノ東藤井入湯ノ原入此道前見ヘタル田山家與境ノ路ナリ

姥ガ懐是ヨリ田組又薄川ノ分舟付橋上女鳥羽山ナリ

ヨリ桐原上金井荒井下金井ノ邊ヲ流ル

海岸寺澤追倉澤ナド落合ナリ川下ハ

清水ニテめとくさ川へ落ル

出川組

一出川町村ハ松本城下馬喰町南ノ出口

ヨリ田川ノ橋ヲ越テ程近シ此橋ノ出リノ橋ト云フ長ナ

七間幅二間二尺掛直シノ節ハ人足松本町ヨリ出ス橋下兩詰川除ハ南ハ出川組人足ヲ出ス北ハ庄内組人足ヲ出ス此橋松平出羽守領主時所以アリテ本町ノ問屋倉品七郎左衛門課役トシテ掛タリト云フ其後ハ守護ヨリ諸木釘金物大工等マテ出ニテ普請

一出川町ヲ出テ右ニ差矢場アリ東西三十間南北百十間

寛文二十二年ヨリ延宝四年ノ年マテニ出来ナリ三方ニ土手ヲツキ松ノ並木ヲ植ル出川

ヨリ鹽尻本山等ノ往還ハ道程記見ユ

一 田川水止六鹽尻與ニ見ユ南ヨリ流ル馬喰

町ノ西ニテ薄川ハ落合前ニ見ユ此川ノ東ニ並

柳村ト云フ一村松本領ナリ此外神田村

此邊ヨリ真ヨリ諏訪領五千石都而

村數十七入交リテ此郡ニアリ神田行

一 淵瀬黒上下ニ村百瀬白川白姫和泉垣原南

内田北内田小池上赤木下赤木南

熊野井 北熊野井 中梓此村々ナリ

是ヨリ南ハ鹽尻組ハ荷直ニ入り道ヲ引下

シ棧敷村長畠村堀内村ト並ヘリ但ニ瀨黒

等ノ東ノ山ハ松本領諏訪領並ベリ北ハ松本

領中山出川與ノ山ナリ此南ニカケアリ諏訪

北へ入込テ庄内組ニテ村ハ隣ナリ

一 木曾川 水上ハ木曾ノ鹽尻組ヨリ當與マテ

南ヨリ北へ流ル此川ノ西ニ梶海渡村正山寺

二子村慶林寺觀光寺 大福寺 寺家村

福應寺下神林村長久寺 神戸村長

松寺之ト云フ寺院アリ 宗音等ハ寺社ノ部ニ見ユ 是等ノ

村々ノ西五千石トテ御代官所アリ 是レハ筑摩

郡ノ内ヲ諏訪高遠へ五千石ツ、分ラレシ時ノ

高遠分西五千石ナリ 然ルニ高遠檢地ノ節此

所ノ高増ニテ御料トナル此御代官ハ會田組

金山料支配ノ人預リナリシ所ナリ 其村分

等ハ左ニ 正徳三年水野肥前守知行地

方配分渡サレシ時和田十九ヶ村ノ内四千

三百石 金山分七百石 合テ五千石 此村大池小坂竹田衣

下今井南和田御料 岩壺 高遠領メ七ヶ村

御領高二千六十石程此村數墳村和

田町 中村下和田荒井 殿村南和田

壹岐寺 分郷 七ヶ村高遠領ハ古見針尾

小野沢小曾部 西洗馬本洗馬岩壺

壹岐寺 分郷 都テ七ヶ村長瀬ト云村ハ枝村

ニヤ國繪圖ニ見ハズ是ハ南ニテ本山ノ西

ノ方ナリ  
 一 小曾部川水 上西ノ山ヨリ出テ木曾川  
 へ落ルルヨリ川水上古見山ヨリ出北へ  
 流レテ二子村ノ北ニテ木曾川へ落

一 當與次柳村堤ニツマリ内一ツハ雨池トテ

自然池ナリ  
 △トハツク

△トヨリマク  
 鹽尻組

一出川組ノ地境ハ平田系屋ノ南ナリ村井所道程記ニ此所ニ常  
 照寺泉龍古ナト云寺アリ惣而寺院有前ホ 田川ノ東ニ向吉田村  
 向野村トニ村アリ是ヨリ東ハ後所領ナリ出川寺所ニ後所領  
 赤本能野丹 中挾村トシヲシリ與挾敷村ノ間ヨリ東ハ  
 此此トリ 八境節アリ 後所領ニ本カケ山ト云アリ南ハ松本領挾敷  
 村ノ山ノ神ノ祠ヨリ東ニ物見山ヨリ宮ノ方ニ西尾山ト云アリ一匠  
 ニ匠ニ匠湯ノ匠トテ四ツアル故此号トセリ其南ヲうと匠  
 一云東ヨリ出テ未申へ流レテ鹽尻町ノ東南金井村北  
 ニテ松井沃ト落合西へ流レテ下茶村ノ内外當田村ノ邊ニテ  
 東南ヨリ落ル沃川トモ落合是田川ナリ

○ケハツク

山口番所

永福寺

福寺ト云フ

永ノ字ニ段

委ク別ニ

神ノ祠立

餓鬼山

古甲列武

リニ所ナリ

ノ方内リ

一 小曾部川水西ノ山ヨリ出テ木曾川

ハ落ルルヨリ川水上古見山ヨリ出北ハ

流レテ二子村ノ北ニテ木曾川ハ落

田

一 當與次柳村堤ニツアリ内一ツハ雨池トテ

自然池ナリ

田

一 鹽尻町 中仙道ナリ委ク町ノ東出口番所

アリ 定番吉江助右衛門 鹽尻町ニ永福寺

ト云フ真言宗ノ寺アリ 古ハ長福寺ト云フ

此寺昔木曾氏ノ菩提所ナリ 近年永ノ字ニ改

栴況ノ東北ノ方ニ阿禮大明神ノ祠立

栴況ヨリ峠ハカニ往還ノ左ニ餓鬼山

トテ小キ丸山アリ 鹽尻峠ハ古甲列武

田信玄ト小笠原長時合戦アリニ所ナリ



白委冬甲陽峠ノ北ニイノ字山ト云アリ

軍鑑ニ見ユ所知以アル名其東ヨリ松井沢出ル峠ニ

淺間ノ宮アリ是松本ト諏訪領ノ大境

ナリ諏訪ノ方ニテハ四ツ谷峠ト称ス峠

ヨリ往還ノ北へ別レ路アリカツツル山ふこ

うげ道トテルヶ道此道ヲ夜盜道ト云フ

穀物鹽等ヲ夜中ヒソカニ付通ル故ナリ是ニ依

テ石留番人ヲ出スノ節ハ此路ヲ夜廻リスル

ナリ此所ニテ松本ヨリ鹽尻番所ニ出シ置穀

留番人ト諏訪領ノ百姓爭論ノコトアリシ

委細別記ニ見ユ又四沢山ハ鶴山山路アリ

諏訪領ノ中挾南方等へ出ル往還ノ左

駒込ノきかづは山池ノ平長者屋敷

〜り沢天狗木ナト云アリ此山々ノ西

鹽尻町番所ノ外ヨリ別レ路南ノ方小

野通伊奈郡へノ路アリ是三河ノ国へノ

北小野マテ鹽尻ヨリ一里二十八町此所ニ小野大明神

ノ宮アリ當郡ノ大社ナリ此宮地ノ木林



峠へ先ニテ  
行合フナリ

此東ニにり沢山又北小野村ノ

北東ノ山ニ御射山虚空藏立ツ鹽尻町ヨリ

ノ道ニふとふ山峠アリカサヤ沢橋ヲ渡

リテ新町ヲ北小野  
ノ枝村通り明神ノ森或ハ

北小野村へモ行ナリ小野山ノ中ニ古城跡

ニテ所アリ西ノ方ニカサ敷山北小野  
分ナリ猶西ニ

切戸屋山上ノ山ナト云アリ駒沢御柱山

此南ニ神光寺ト云寺アリ此邊ヨリ南ハ

伊奈郡ナリ飯沼山此所雙方百姓争論御

裁許アリニ地ナリ大栗沢ヨリ此飯沼山ノ

西魚沼ノヤニ云下事ナ北小野ヨリ毎日馬二十

匹ツ入合フナリ柏木立ノ山あり〜沢牛島峠

魚沼ノ山探云山々アリ路ヨリ南飯沼分

前山曲尾ヨリぬりて沢マテノ内北小野ヨリ

馬二十匹ツ毎日入合ノ山ナリ大入道牛

ノ白活トハ大が志やぬりて沢是ノ活ヨリ西ハ

木曾中山ナリ此所伊奈郡筑摩郡ノ堺  
ナリ又郡境ノ北ハ松本領魚川ノ水ニ  
沃ノ水ノき平此邊ノ沃ハ南北ヨリ出ル共ニ  
西へ流レテ木曾川へ落ル此西ニ本山町ヨリ  
日出隨四櫻沃ノ橋木曾界ナリ本山町  
南ノ出口ニ番所アリ釜沃関沃龍沃何モ  
東ノ山ヨリ出テ西へ流レ木曾川へ落ル  
此沃々ハ本山ヨリ  
櫻沃マテノ間ニアリ又本山ヨリ北へ洗馬町

村マテノ間小沃山宮沃何モ東ノ山ヨリ西  
へ流レ木曾川へ落ル右小沃関沃釜ノ沃小  
水沃共往還ニ橋アリ何モ城主ヨリ掛テ  
ラル又洗馬町ニ茶屋アリ別記ニ  
見ユ此ヨリ日  
出隨四マテノ東ニアル寺社等別ニ記ス本  
山ノ西木曾川ノ向フ南ニ堺ノ沃ト云アリ  
此南ハ木曾ニテ尾張殿領地ナリ本山  
分ノ野ノ田山中ノ平山アリ小水沃北

ヨリ高遠領ニテ長瀬ト云枝村アリ此所  
 ヲツ。木曾川ノ中央 松本 高遠領塚本洗馬  
 越ス心ト橋ノ南ニテニテ是ヨリ東へ高  
 遠領入込大田村一ツアリ 往還ノ東ニ分  
 杭アリ此杭ヨリ西川向 松本領ノ地出  
 張レリ即鹽尻組今村芝宮新田小俣  
 村等ナリ右領塚 岩岳 村ハ 高遠ト水野壹  
 是ヨリ西北ハ出川組ノ所ニ見ヘタリ 猶

西南ノ方ハ松本領嶋立組ナリ 上ニ見ユ

當興堤池

- 一 柳澤ト鹽尻町トノ 間北ノ方ニ一ヶ所 是ハ鹽尻町分
- 一 中条村ノ東ニ一ヶ所 御手洗ナリ
- 一 平出村ノ南ニ一ヶ所 一同村ノ南西ニ一ヶ所
- 一 床尾村ノ西ニ一ヶ所 一野村ノ西ニ一ヶ所
- 一 吉田村野村西ニ一ヶ所 一向吉田村ノ西ニ一ヶ所

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 庄内組 and 松本ノ城.

庄内組

一 松本ノ城此地ニアリ木曾川ノ東ニテ  
川向西ハ嶋立組ナリ戌亥ノ方ニ放光  
寺山アリ林廬ニ真言宗ノ寺アリ即放  
光寺ト云ハ觀音堂アリ寺ノ前ニ蓮池  
アリ中嶋ニ弁女天立ツ古城跡ノ山ヲ  
リ次敷城山ト云傳ヘテ誰入ノ筑ホリト  
云コト知レズ中比大飼民ノ人在城セリ

五卷

トカヤ 犬飼村ハ此山ノ西裏ニテ  
木曾川ノ西東ニアリテ成相組ナリ 放光寺城

山ノ東ニ木沢ト云所ニ正麟寺ト云ノ曹洞

宗ノ寺アリ 是上野金松寺永寺ナリ小笠原  
長時ノ開起其所以等寺院ノ部見

北ハ因田組界東ハ山家與境ナリ 前見

辰巳ノ隅ニテ諏訪領神田村ト松本領三

又村ト並ヘリ是ヨリ南ノ方ハ出川組界

ナリ松本ノ城ヨリ午ノ方ハ町三十間ニ

小嶋村アリ井河ノ城跡ナリ 委ノ城主記又  
古城記ニ見ユ

### 當郡古戦場

## 一 鹽尻山下合戦ハ天文十四己巳年五月ナリ

晴信佐久ノ郡へ出テ仕置ル處ニ板垣信形飛脚ヲ  
以テ鹽尻へ小笠原打出峠ヲ越シテ働キ伊奈衆  
モ働出ルヲシ注進ニ依テ晴信時日ヲ移サズ諏訪  
へ馬ヲ向ケテ小笠原木曾兩敵ト合戦アリ五月二十  
三日辰ノ刻小笠原鹽尻峠ヲ下ツテ木曾ノ同勢トシ  
テ峠ニ備シ立サセカ、ツテ合戦ヲ初ムル兼テ信濃  
衆度々晴信ニ討負テ小笠原滅亡遠カルマシキヲ思ヒ  
テ有無ノ合戦ト志シニ依テ暫ク戦ヒル内ニ武田方  
右備ニ頭ヲ以テ後へ廻リ峠ニ扣ハタル木曾ノ備ハカ  
ルヲ見テ小笠原衆敗軍ナリ武田方へ討取ル穀糶  
兵共ニ六百二十九ノ頭帳ヲ以テ同日未ノ刻ニ勝凱  
歌ヲ執リ行ハル又其時伊奈衆ハ搦手トシテ鹽尻ヨリ

南伊奈郡境ニ扣ハタル敵ヲバ板垣信形請取テ向ニ所ニ  
鹽尻峠ノ合戦小豆原本曾討負タルヲ聞届ケ同日  
七ツ過伊奈衆陳シ拂テ逃ノ氣色ヲ見テ信形進シ  
テクヒ留ル敵モ返シテ馬足輕ナトシテ如何モ神妙  
ニ見エタリ然ル處テ信形が甥萩原與惣左衛門同九郎  
次郎トテ兄弟アリシガ此九郎次郎二十一歳ニテ若氣  
ナレトモ武道ノカシコキコト兄モ勝レル者ナル故敵ヲ見  
積リ兄與惣左衛門ニサヤキケルハ伊奈衆弓箭  
功者ノ人々ナレハ大手鹽尻峠ニ於テ晝ノ戦勝負知ルカ  
比事アルマシキ處ニ一味ノ大身衆兩人マテ後トテ取タルニ  
今申ノ半マテ退カサルモ不思議ナリ其上陳拂ヒニ  
風モナケレト陳屋ニ火ヲカケス所々火ヲ付タルヲモ打  
消シハ謀アルト見ヘタリト云フ與惣左衛門ハ其年三  
十五歳度々午柄アリテ其時代中老ノ功者ナル故  
弟ノ道理ヲ聞届ケ信形へ間近クヨリ敵方ニ手立  
アリト見ヘタリ分別セラルヘシト云フ信形弓箭功者

近國ニ名ヲ知ル士大将ナレトモ我カ同心被官等ノ謀ヲ  
上サルコト一ツノ疵ナリシ故殊ニ若キ九郎次郎敵手  
立アルヘシトハ臆病氣ナル云ヒヤウトテ兄弟ヲサンハハル  
其内ニ日暮小雨降リ東西暗キ時刻伊奈衆返シテ備  
ヲ立ナラシメ攻合ヲ初ル時跡ノ陳屋ニ士雜人共ニ三百  
ハガリ密ニ残ニ置シガ三所ヨリ関ノ聲ヲ上ケテカ、ル  
板垣衆是ヲ見ニツニ分ケ跡先ヘカリテ勝負ヲ始ヨ  
ト信形下知スレトモ出接ノ行故板垣二百五十騎ノ同心  
被官跡先ハ四十一騎討死シ足輕雜人ハカケテ八百五  
十三人討シタリ敵ヲハ漸ク馬棄ニ騎步行者十一人討  
取跡ヨリカ、ル敵ハ步行去故利ヲ得テ山ヘカテマリ  
谷ヘ下リテ退クニ依テ一人モ討レズ伊奈衆サカカ  
板垣ヲ手立ニ棄テ勝利ヲ得タリ彼九郎次郎若氣  
故臆病心ト云ハレタルヲ口惜ク思ヒ初メ先ヘカリ能キ  
武者ヲ一人討テ其預ヲ信形ニ見セ莞爾笑ヒテ又敵  
ノ中へ押込討死スル板垣方へ討取ル伊奈衆三騎ノ



内一ツ九郎次郎討タルハ一番高名ナリ 伊奈衆大キナル  
譽レト述國ニ沙汰ナリシハ板垣一庄ノ恠我ナリ 伊奈衆  
跡先ヨリカ、ラレ味方ノ備ヲ 乱サス下知シテ勝負ヲ  
シタルハ弱敵ニ勝タルヨリハ成リ難キ義ナリトテ暗信  
ハ板垣ニ褒美アリシトナリ 翌二十四日暗信鹽尻峠ヲ越  
シテ桔梗原マテ焼働アリ 木曾領ヘモ手遣アルヘキ處  
村上茂清小諸へ出ル注進 依テ小諸へ馬ヲ向テラレケハ  
村上早々退散故暗信モ取テ返ニ諏訪ニ馬ヲ去イ  
奈へ働ノ手遣アリシトナリ

一又天文十七戊午七月

諏訪衆倭心ヲ起シ 筑摩郡ノ衆ヲ催シ  
一揆セシ時板垣弥次郎信里飛脚ヲ以テ木曾 松本各  
地戦故一万ハカリノ人数マテ我等ヲ攻テスヘキトノ義

ナリ暗信此告ヲ聞賜ヒ同十八日古市ニテ勢揃六千ノ  
人数ニテ馳向<sup>ヒ</sup>先中物見ヲ出サレシ處ニ暗信 着陣  
ヲ聞敵ハ鹽尻邊ニ陳取ル同十九日卯ノ刻鹽尻山下ニ  
テ合戦アリ敵地戦ナレトモ太將 出サル故武田家  
勝利討取頭数八百七十三此時暗信ニケ所キヲ負  
ハル矢疵 鏝疵ナリ 此鏝ニテ暗信ヲ突タル者ヲ小  
田切平次左衛門討取ニ依テ暗信ヨリ感状ヲ賜ヒ  
シトナリ

一天正十三年井伊兵部少輔直政木曾小

笠原兩家ノ人数ト迫合セシニ鹽尻ニテノ

フトナリ 是ハ上田表へ三列ヨリ 御人数ヲ向ケラレシ勢兩家  
ヨリ真田ヲ見次援兵トシテ此所マテ人数ヲ出  
セシ時參列ノ御人数ハ引取直政ハ佐久小縣筋ノ城々  
仕置ノタメ此邊ニ残テ一心ノ覺悟ヲ以テ迫合木曾衆ヲ

三十六人討取シテリ猶城主記上田ノ下ニモ載セタリ

一 桔梗原合戦 天文二十二年 癸丑 五月六日ナリ

小笠原長時三千餘ノ人数ニテ出テ合戦アリ武田方ノ  
武田將丹利左衛門尉飯富三郎兵衛馬場氏部春日  
彈正内藤修理五類ヲ以テ一戦ニテ勝利ヲ得小笠原方  
ヲ討取數雜兵共六百七十九次ノ日又長時四千五百人数  
家中ヲ拂テ出合戦アリ七日卯ノ刻ヨリ己ノ刻ニテ戦  
武田家勝利雜兵千四百九十三首級ヲ得テ同日午ノ刻  
勝凱歌ヲ執リ行ヒ同日深志ノ城へ取詰ラレシ所ニ長時  
降參故誓詞ヲ取替シ城ヲ請取り長時ハ宰入ナリ  
委細城主記松本ノ下ニ載タリ桔梗原合戦場今テハ  
畑トナレリ又頸塚野村町跡ノ邊ニアリ其時野村町並  
方便山善立寺ト云フ浄土宗ノ寺モ兵火ニ焼失シテ町屋  
トモニ今ノ處ニ引テ村居トナリ善立寺モ餘程ノ寺地ナリ

シカ小寺トナリシト云ヒ傳フ  
其先木曾或ハ伊奈衆ト小笠原家地取合ハレシ時此原  
ニテ度々迫合アリタルト云ヒ傳ヘタレトモ記ニ置ル書モナケ  
レハ詳カナラス 桔梗原ヲ古歸京原ト云ヘル故實  
ハ舊俗傳ニ載ス

一 松本城下安原町ヲ出テ北郊外ソリメノ

邊ヲ合戦場ト云ヒ傳ヘタレ共何レノ時合戦

アリシト云フコト體ナラス小縣郡筋或ハ

仁科筋一味ノニ麻績會田青柳邊ヨリ

働キ來リ此所ニテ小笠原家ニ屬セル大

養平瀬等放光寺山城取出深志

人数ヲ待合防戦アリト云下カヤ又小笠原貞慶當城歸

参ノ時是輕迫合アリシモ此所ト云フ説アリ

一保福寺合戦ハ天文十九戊辰年九月九日ナリ

保福寺ハ會田與ナリ惣ニテ郡境記ハ書加タル古戦ハ士地ヲ分ケタルカ故ニ年号次第算前後ノトハ敢テ其頃ニ記スニアラス一與限リ載セタリ又洩レタルハ追々書加フル故ニ不  
同多シ見ル人是ヲ思ヘ  
武田晴信松本ハ働カント欲シテ陳觸レアリ郡内ノ小山田諏訪  
板垣一平ニシテ深志ノ追平桔梗原ハ働ヘシト下知シ晴信  
ハ佐久ノ郡ヨリ出馬小縣ハカリ浦野ヨリ保福寺カハ働  
長時モ早々稲倉峠テ折越シ保福寺平ニテ無二無三ニ

カッテ合戦ヲ初ラル武田ノ先手崩ル處ニ耳利左門  
尉旗本ノ前備ナリシカ崩ル先手ト入レ替リ戦時先手モ  
備ヲナラシ左右ヨリ入ル依テ長時敗軍武田方ハ討取  
數難兵トモニ五百十九ノ内二百七十三耳利一平ハ頭ヲ取リ  
老功ノ士大將共ヲ越シテ耳利左衛門尉武功勝レタリ此  
時直ニ松本ヘ奔入長時ヲ退治アルヘキ處ニ長尾景虎  
海野平ヘ出テ注進ニ依テ先此所ヲ差置景虎ニ向  
給フ九月二十八日ヨリ十月十日マテ對陳ノ内先衆迫合等  
アリ同十景虎退散故合戦ハナシ

一菊屋原城攻ハ天文二十一年ナリ

武田晴信八月甲府ヲ去テ小縣ヘ出馬アリ不意ニ保福寺  
兵入數ヲ押入レ典既並先衆ニ三頭ヲ以テ松本ノ城ヲ押ハ  
旗本前備馬場耳利等ヲシテ同三日早朝ヨリ此城ヲ  
攻テ爾委細古城記ニ載スル太田弥助討死ニテ此邊城々

皆落城セリ

元禄年中中國繪圖段アリシ節當家郡  
奉行差シ添へ物頭役宮部清純ト云者  
仰テ郡境等ヲ正サセラレシ時清純當領ト  
他願ノ境ヲ順廻シテ百首ノ歌ニシ、リ  
置テリ後ノ人郡境記ヲ見ル一助トモナ  
ルヘテハ今此ニ載ル



瀬戸境の廣法寺よりあけく大月より金野の入  
一のほたるけ入をこや瀬戸船橋よりあせのこ  
橋よりこら入のこつて瀬戸と松本和甲府  
より法のおたこまるとして石をより東和甲府に  
華うまよちがいぬまきこよ切境や甲府松本の依  
ういへるまよのあよまてのこよより上田依きいり  
は乃や舟がは入まきこや成やうまて武石鐵り  
武石鐵りこのほまのこつて松本上田依きいり

追下や板本橋と程丈よりあせのこよ  
まごよのまごよ田や倉田内村依きこつて  
倉田依き大まき石鉄橋大ぶとこらや倉田依き  
田村のこよより東依き倉田よ橋のあり  
よよこらはまこらりよや大らりよや山はら余依  
ひよ小たほま山やまよ山保福寺ま倉田依  
月法や地獄まよ池のこよ保福寺ま内村依  
保福寺まよのこよよまかて商人法やまよのこよ

小松がさし法くじち山をふり少松をくし上田にあり  
上田原にふりける中の小松をふりまじ小松のこ  
大火あき松がさし法どが山をふりて居るまじつどい  
松の比嘉松の松をくし上田原にあり松を  
明き通しお見え松の松をくし上田原の家  
少松の家をこまじり上田原麻績の松をくし  
松をくし上田原の松をくし上田原の松をくし  
松をくし上田原の松をくし上田原の松をくし

松をくし上田原の松をくし上田原の松をくし  
松をくし上田原の松をくし上田原の松をくし  
松をくし上田原の松をくし上田原の松をくし  
松をくし上田原の松をくし上田原の松をくし  
松をくし上田原の松をくし上田原の松をくし  
松をくし上田原の松をくし上田原の松をくし  
松をくし上田原の松をくし上田原の松をくし  
松をくし上田原の松をくし上田原の松をくし  
松をくし上田原の松をくし上田原の松をくし  
松をくし上田原の松をくし上田原の松をくし

いさご活神がう京一河を松屋田山境のあり  
ふらやれ着の河極細葉桐山まゝの倉田松城  
いさご活がゆれ通るはたききうおまてハ松城の依  
いさご活よりおまてのたのた平五河平と名

きり山の道より知れ川ハ麻淡松城瀬と山境のあり  
あまゆやま活林の切よとまきづる神と河津の  
細いものまる枝とを信とあらま川平と松城の切  
箱のにはは行てうお持た松城まうの知れ屏川

箱のにはこのハ南地地むり古松城戦中此川  
箱のには箱城那の階もまた文級あま川

安曇郡

屏川の流筋と郡境あま東文級あまあまあり  
あま留管の古橋よりも舟渡り盛せは松城まう村あり  
さい川とあま橋村より松城のちま材ハ舟渡りあり



舟楫入るご思ふやうに山山越りて境域あり  
さいのまらうとてをいふは七境の域うよたなり  
た右境のふ物流ちうにうはせき法ありた物林と  
神のまことぬり法をいふ神一いご者一のありけり  
細具や子身境のまらうもまらうありつごた  
厚はたなすまらうと改じまらう具格やこし花や  
かまが潤様よまらうとてまらう水新とてまらうあり  
神よりまらうも法改やたぬおんまらうとてまらうあり

忠實のまらうもまらうとて改じまらう具格やこし花や  
横尾よりまらうよにうまらうと法た臨境のまらうと  
にうまらうの危よりとて改じまらうとてまらうあり  
まらうよりまらうとて改じまらうとてまらうあり  
おはらうよりまらうとて改じまらうとてまらうあり  
二たうとて改じまらうとて改じまらうとて改じまらう  
たまらうやお池酒宿木まらうとて改じまらうとて改じまらう  
お池とて改じまらうとて改じまらうとて改じまらう







